



発行所

日刊自動車新聞社

東京都港区芝大門1丁目10番11号

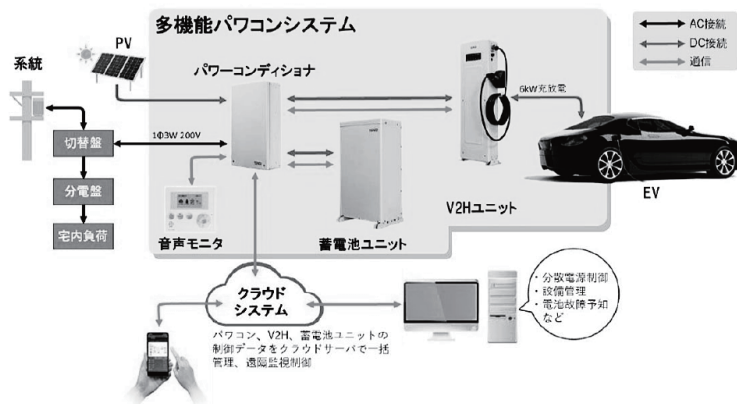
電話 東京(03)5777-2351代表

©日刊自動車新聞社2022

3月16日
(水曜日)

東京電力ホールディングスとダイヤゼブラ電機は、電気自動車（EV）と太陽光発電、蓄電池の電力を統合制御する「多機能パワコンシステム」を共同開発したと発表した。今回開発したシステムは電力供給などを制御するパワーコンディショ

多機能パワコンシステム模式図



東電HDとダイヤゼブラ電機 電気料金を最小化 多機能パワコンシステム開発

ナー、EVと住宅の間で電気をやり取りするV2H（ビークル・トゥ・ホーム）ユニット、住宅の電力を制御する蓄電池ユニットで構成する。クラウドを活用したAI（人工知能）が、太陽光発電状況、EVを含めた家庭での電気使用状況に応じて電気料金が最小化となるようにV2Hユニットと蓄電池ユニットの充放電を自動制御する。停電や電池残量などの動作状況をスマートフォンやタブレット端末を使って確認できる。

V2Hユニットはダイヤゼブラ電機が特許を持つ絶縁双向電力変換技術を採用、コンパクトながら高効率で、省スペース設置が可能。蓄電池ユニットには、家庭用蓄電池として初めて26℃時のチタン酸リチウムイオン電池を採用、長寿命性能や低温性能を向上した。

両社はシステムを2022年度に市場投入する計画。

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。

掲載日 2022年3月16日 日刊自動車新聞 3面 ©日刊自動車新聞社 無断複製転載を禁じます。